

# 令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 27-2

担当部局・担当課名: 生活環境文化部 県民生活課

事業名	ボランティア総合支援センター活動支援事業費	評価結果	一部改善
-----	-----------------------	------	------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・人件費を出すとか補助金を出すというところだけを県がやるというのか、それとも県全体としてもボランティアの底上げというか裾野を増やすために活動すべきとしたら何をすべきなのかとか、もう一つ目的に沿ったというか、逆に目的を小さくするんじゃないかと、目的に沿った活動をもう少しこの予算の中の配分として考えてもらってもいいのかなと思う。
- ・うまく連携したりとか、今で言うと、本当に多様化した中で、やっぱりITとかはしっかりうまく使って効率化をしていかなければならないこともたくさんあると思うんですけども、その辺が苦手だったりする場合、センターの人たちがそういう部分を含めてしっかり入っていければいいと思う。
- ・同じような活動をしているNPOはたくさんあると思いますし、もしかすると、連携することによって、1個のパッケージとなつてすごく成果が上がるみたいなことも多分あると思うんです。ちょっとそこが漏れちゃっているのかなと、残念だなというのは個人的に思いました。
- ・介護体験とかではなくて、そういう興味を引くようなところとか、高校生ぐらいからそういうふうを広げていくと、心の奥底に、やっぱりボランティアは必要だ、楽しい体験とか感謝された体験というのは多感な時期にとっては非常にプラスになると思うので、そういうこともやられていくのも一つの例としていいんじゃないかなと思いました。
- ・事業化が目的の中にあるのであれば、そこは裾野を広げるという今までの流れに加えて、そういうところも考えていかないと、真に県民のためにならないのかなという気がしますので、ぜひとも目的を考えていただいて、その辺の動きも加えていただいてもいいのかなと思います。

### 【県民評価者の意見】

- ・何かちょっと話を聞いていても定まっていないのかなというところが、1997年からやっておられて、あまりにも進歩、進化がなさ過ぎるという思いをすごい感じました。

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 17

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (補助金を出すのをやめる。)	役割分担 見直し (市町村が補助金を出すように促す。)	抜本的改善 (補助先の実施事業に対して、県が方向性を示していく。)	一部改善 (基本的には今までのやり方でよいが、目的の整理や方向性を明確化する。)	現行どおり ・拡充 (今までどおりの進め方、考え方で進める。)
	3	0	6	8	0

県民評価者の主な評価シートコメント	評価結果と 同じ評価	<p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の補助内容の多くは、コーディネーターの人件費に割り当てられており、ボランティア参加者の増加に資するものであると思いますが、NPO活動内容そのものに対する支援は少ないように感じました。</li> <li>・NPO活動が継続的に実施されていく上では、強化すべき活動自体に対する支援や、同様の活動を行っているNPO法人同士の連携に対する支援、NPO法人以外の団体（一財など）の行っているNPO活動に対する支援等も検討が必要と思います。</li> <li>・ボランティアを増やすための事業であれば、県民にもっと裾野を広げるための活動・イベントにも力を入れたほうがよいと思う。</li> <li>・学生や第2の人生群を対象に絞ったPRを考えてはどうか（生きがい対策と絡めて）。</li> <li>・ボランティア活動への「きっかけ」づくりに団体・組織への働きかけ・PR等が必要で、そこに予算をもっとかけ、ボランティア参加者が増えるきっかけになると思う。</li> <li>・市町村の社協の実態の把握を（特にボランティアコーディネーターが機能しているか）</li> <li>・補助金のルール作りが必要</li> </ul>
	上記以外	<p><b>【行政の関与不要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景に書かれている災害発生時のボランティア間の連携がうまくいくなったのかが不明。目的を見直す必要があるのでは。</li> </ul> <p><b>【抜本的改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的について方針は何となく理解はできますが、実施している内容が本当に有効性があるかどうか確認が必要だと思います。</li> </ul>

<b>事業名</b>	ボランティア総合支援センター活動支援事業費	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-----------------------	-------------	------

<b>【参考】委員による評価</b>				<b>委員総数</b>	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (補助金を出すのをやめる。)	役割分担 見直し (市町村が補助金を出すように促す)	抜本的改善 (補助先の実施事業に対して、県が方向性を示していく。)	一部改善 (基本的には今までのやり方でよいが、目的の整理や方向性を明確化する)	現行どおり ・拡充 (今までどおりの進め方、考え方で進める。)
	0	0	2	2	0
委員の主な評価シート	<p><b>【抜本的改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の担い手を育てる方向に転換した方が良いと考えます。そしてボランティアの活動の価値を数値化する流れもあるようなので、そうした中で指導していくような立場に進化してもらえるとよいと思います。</li> <li>・NPO法人が成り立つには民間企業と違い資金が必要である。でもそれに対しての管理が少し効率性に欠けている気がする。ボランティアの裾野を広げるための熱量と活動量が足りない。</li> </ul> <p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人の数を増やすこと自体を目的化することで、本来目的としたかったボランティアの裾野を広げたいということに結び付く活動まで検討が及ばなくなっているのではないか。</li> <li>・いい活動をするNPOに対して、何らかのインセンティブを与え、継続性を高めることはできないか。目的の中に、ボランティア組織への情報提供、ネットワーク化、NPO同士の連携を通じた、非常時、必要時の円滑な対応を目指すとした内容を付加いただきたい。</li> </ul>				

**県の対応**

対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	<p>○目的を①ボランティア活動の裾野拡大、②災害時のボランティア活動支援、③NPO活動の基盤強化支援の3つに整理し、それぞれ目的に合わせ事業内容を見直し</p> <p>①若い世代がボランティア活動へ参加する機会を創出する取組みの実施</p> <p>②災害時のボランティア活動の円滑な実施のため、人材育成への支援等を実施</p> <p>③NPO活動支援のため、NPO法人設立の案内動画の配信や、NPOの交流会の開催等を実施</p> <p>※災害ボランティアの活動を支援するため、別途「災害ボランティア活動費等補助金」を要求</p>				
R5当初予算での対応	R5当初予算(案)	39,073(千円)	R4当初予算	38,603(千円)	増減額 +470(千円)
	増減理由	・災害ボランティア活動や若い世代のボランティア活動参加を促進する、新たな事業を実施するため			

<b>事業名</b>	ボランティア総合支援センター活動支援事業費	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-----------------------	-------------	------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	39,073(千円)	前年度予算額	38,603(千円)	
		事業の目的	①ボランティア活動推進事業…ボランティア活動の裾野拡大 ②災害ボランティア活動支援事業…災害時のボランティア活動を支援 ③NPO活動支援事業…NPO活動の基盤強化支援			
		事業内容	①ボランティア活動推進事業 若い世代がボランティア活動へ参加する機会を創出する取組みを実施 ②災害ボランティア活動支援事業 災害時のボランティア活動の円滑な実施のため、人材育成への支援等を実施 ③NPO活動支援事業 NPO法人設立の案内動画の配信や、NPOの交流会の開催などにより、NPO活動を支援 ※災害ボランティアの活動を支援するため、別途「災害ボランティア活動費等補助金」を要求			
		積算内訳	①26,956千円②1,885千円③10,232千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、ボランティアの裾野拡大、災害ボランティアへの支援といった事業目的を明確化するなど、適切に見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	39,073(千円)	/		
要求時点からの変更点		変更なし				